

# 桃青



大石早矢香 秘めリンゴ - 唇 -



新宮さやか 熾花 "one day"

## 大石早矢香・新宮さやか 二人展

- 装飾とうつろいのかたち -

会期：2023 年 6 月 2 日（金） - 2023 年 6 月 24 日（土）

桃青京都ギャラリー

〒604-0924 京都市中京区一之舟入町 375 SSS ビル 1 階

開廊時間：11:00-18:00 定休日：日・月

※最終日 16:00 閉廊

# 桃青

## プレスリリース

桃青京都ギャラリーでは、新宮さやか、大石早矢香による二人展を開催いたします。本展では、繊細な装飾美で注目を集める2名のアーティストによる新作を展示いたします。

新宮さやかの作品は細やかさと制作過程における手数に圧倒されます。作家の情熱を感じつつも、その仕上がりには品があり、静寂な存在感に魅了されます。花をモチーフとした新シリーズは、花卉一枚一枚に作家の魂が込められ、はかなくも尊い作品群です。

移ろう季節や時間の流れを、いつも身の廻りの自然のものたちが気付かせてくれます。

特に花は私にとって、誰のものにもならずそこに存在する命そのものであり、彼岸と此岸、生と死のあわいに咲く畏敬の念を抱く存在です。その姿に憧れ、理由を少しでも教えてもらいたい思いで制作しています。と語る新宮さやか。

これまではオブジェと器系の作品の両方を制作してきましたが、本展ではオブジェ制作に力を注ぎ、新しい作品群を生み出しました。

大石早矢香の作品は鮮やかな色彩、装飾の緻密さ、洗練された造形美が魅力となっています。即興で生まれた装飾からは、作家の想いや辿った時間、物語を感じ取ることができ、作品を通して広漠とした世界が広がります。

# 桃青

—以下 大石早矢香 statement—

私にとって装飾は、言葉よりも雄弁な感情表現です。

心に渦巻くエネルギーを即興で装飾に変えることで

自らの混沌とした言いようのない感情をかたちにしています。

私の装飾に人体や動植物、無機物のかたちが混在しているのは

私が全てを平等で同類だと考えているからです。

日本には神と動植物をないまぜにした神話があり

仏教には「一切衆生悉有仏性」という言葉があります。

この万物に共感する思想が、私の装飾に無自覚に顕れ

私も歴史の担い手であることを教えています。

先史より人々は、世界・国・個人のありさまを装飾で表現し、

自らの「生きた証」として世に残してきました。

私の「今を生きているという証」は

この即興で奏でられた多様な装飾に刻まれています。

本展ではこれまでも好評を博しているオブジェシリーズ「リンゴ」「招き猫」他、新作を展示いたします。

2名の作家、それぞれの想いが込められた多様な装飾が演出する空間で、生命力溢れる造形的な作品群をご高覧いただけますと幸いです。

## 作家紹介 新宮さやか



- 1979年 大阪府生まれ  
2001年 大阪芸術大学芸術学部工芸学科陶芸コース 卒業  
2003年 滋賀県陶芸の森 創作研修館

### 個展

- 2005年 ギャラリーマロニエ（京都'06）  
2007年 立体ギャラリー射手座（京都）  
2010年 INAX ガレリアセラミカ（東京）  
シルバーシェル（東京）  
Gallery Suchi（東京'13）  
2011年 INAX ライブミュージアム（常滑）  
2012年 Gallery yuragi（京都）  
器館（京都'13 '15 '17 '19 '22）  
2013年 Gallery suchi（東京）  
六々堂（京都'19）  
2014年 EN 陶 REZ（神戸）  
ギャラリー桃青（大阪）  
うつわノート（埼玉）  
2016年 ギャラリーLabo（愛媛'18'19'20'21'22）  
2017年 壺中居（東京'20）  
2018年 日本橋高島屋 工芸サロン（東京）  
2020年 目黒陶芸館（三重）

# 桃青

## グループ展

- 2004年 朝日陶芸展（'07）
- 2010年 「りったいぶつぶつ展」 渋谷 Bunkamura ギャラリー  
+PLUS ジ・アートフェア（東京）
- 2012年 アジアトップギャラリー・ホテルアートフェア（香港）  
ART KYOTO 2012（京都）  
第七回パラミタ陶芸大賞展（三重）
- 2013年 ART OSAKA 2013（大阪）  
LA CERAMIQUE JAPONAISE（パリ・ケルン・ルクセンブルグ・イズミル）
- 2014年 彩鳳堂画廊（東京'15'16'17'18'19'22）  
美の予感（高島屋巡回）  
Gallery Suchi・重力（東京'15）
- 2015年 ART OSAKA
- 2017年 館 遊彩（東京）
- 2019年 瀬戸内市立美術館（岡山）  
建仁寺両足院（京都）

## 作家紹介 大石早矢香



1980年 京都府生まれ

2004年 京都市立芸術大学美術学部工芸科陶磁器専攻卒業

### 公募展・受賞歴

2004年 京都市立芸術大学 2003年度制作展・同窓会賞受賞（京都/京都市美術館）

2013年 神戸ビエンナーレ現代陶芸展・入選（兵庫/兵庫陶芸美術館）

2014年 第43回長三賞常滑陶業展 暮らしのやきもの展・長三賞受賞  
（愛知/INAX ライブミュージアム 他）

2015年 京展・館長奨励賞受賞（京都/京都市美術館）

マイヤー×信楽大賞 日本陶芸の今-伝統と革新・銀賞受賞（滋賀/滋賀県立陶芸の森 陶芸館 展示室・米国/フレデリック・マイヤーガーデンズ&彫刻公園）

第32回長三賞常滑陶芸展・長三賞受賞（愛知/愛知県陶磁美術館 他）

2016年 現在形の陶芸 萩大賞展Ⅳ・佳作受賞（山口/山口県立萩美術館・浦上記念館）

2017年 第12回パラミタ陶芸大賞展ノミネート（三重/パラミタミュージアム）

第3回金沢・世界工芸トリエンナーレ・入選（石川/金沢 21世紀美術館）

2019年 京畿世界陶磁ビエンナーレ 2019・入選（韓国/利川セラビア 他）

第8回菊池ビエンナーレ・入選（東京/菊池寛実記念 智美術館）

2020年 第23回岡本太郎現代芸術賞展ノミネート（神奈川/川崎市岡本太郎美術館）

2021年 笠間陶芸大賞展・優秀賞（茨城/茨城県陶芸美術館）

国際陶磁器フェスティバル美濃'21・入選

神戸財団奨学金を受得

# 桃青

## 主な展覧会

- 2011年 「似美偽用」 (京都/京都高島屋美術画廊 2012年、2013年、2015年)  
2016年 こじまひさやの土の冒険のぼうけん展 (岐阜/岐阜県現代陶芸美術館)  
2017年 Thematic Exhibition in Gwangju GICB2017 (韓国/京畿陶磁博物館)  
2018年 茶陶の現在 - 2018 萩 (山口/山口県立萩美術館・浦上記念館)  
2019年 陶の花 FLOWERS (滋賀/滋賀県立陶芸の森 陶芸館 展示室)  
個展「大石早矢香 - Binary - 」 (滋賀/滋賀県立陶芸の森 陶芸館ギャラリー)  
2021年 豊かなる茶陶展 (茨城/茨城県陶芸美術館)  
新収蔵品展 (茨城/茨城県陶芸美術館)

## 滞在制作

- 2018年 アーティストインレジデンス・ゲストアーティスト (滋賀/滋賀県立陶芸の森)  
2019年 アーティストインレジデンス・ゲストアーティスト  
(韓国/Clayarch Gimhae Museum)  
2022年 アーティストインレジデンス (イタリア/Mondial Tornianti Gino Geminiani)

## 招聘講師

- 2016年 愛知県立芸術大学美術学部美術科彫刻専攻  
2019年 京都市立芸術大学美術学部工芸科陶磁器専攻  
非常勤講師  
2016年～ 京都精華大学芸術学部造形学科陶芸専攻

## コレクション

- Han Hyang Lim Onggi Museum (韓国)  
滋賀県立陶芸の森陶芸館 (日本)  
山口県立萩美術館・浦上記念館 (日本)  
Icheon world ceramic center (韓国)  
茨城県陶芸美術館 (日本)  
Museo Internazionale delle Ceramiche (イタリア)

## 所属

The International Academy of Ceramics

# 桃青

ぜひ、貴誌・貴社にてご紹介いただけますと幸甚に存じます。  
掲載用、写真の貸出などご質問がございましたら下記までご連絡頂けますと幸いです。

桃青京都ギャラリー

担当: 浅野達也

〒604-0924 京都市中京区一之船入町 375 SSS ビル 1 階

[asano@gallerytosei.com](mailto:asano@gallerytosei.com)

Tel: 075-585-5696 Fax: 075-585-5695